

## わが数学科(第37回-2)

### 八千代西高等学校の巻

#### 1 学校紹介

本校は、昭和55年に全日制の課程・普通科として開校し、今年で34年目を迎えました。近年、最寄り駅の八千代緑が丘駅周辺では開発が進み、とても便利な地域になってきた一方で、本校の周辺では田んぼや雑木林など、昔ながらの変わらぬ風景が見られます。また、近隣には牧場も多くあることから、登下校時には牛の鳴き声を聞くことができます。そんな緑の多い自然環境の中で、「創造・敬愛・実践」の校訓のもと、人間性豊かで社会に貢献できる人材の育成を図り、地域社会の信頼を受ける学校を目指しています。

学校の規模としては、今年度は、第1学年5クラス、第2学年5クラス、第3学年4クラスの計14クラスとなっていますが、来年度は全学年が5クラスとなり、より一層活気づくことが期待されます。

学校生活の特徴として、1年生ではほぼ全ての授業でクラスを2つに分けて、きめ細かな学習指導に取り組んでいることがあげられます。また、県内の公立高校で最初に取り組みを始めた「朝読書」も本校の特徴と言えるでしょう。頭髪指導や服装指導にも力を入れており、生徒が卒業後に社会人として自立できるよう、厳しくも一貫した支援をしています。校内での生徒指導を徹底する一方で、進路実現に関しては未定者率の高さなどが課題となってきましたが、近年は進路決定率も上昇傾向にあります。特に、半数近くを占める就職希望者において、その8割程度の生徒の就職先が決まるようになるなど、進路ガイダンスや面接指導といった様々な取り組みが少しずつ実を結び始めているところです。

#### 2 教育課程

平成24年度から数学・理科で先行実施された学習指導要領の改訂に伴い、本校の数学のカリキュラムは下表のようになりました。数学Ⅰは標準単位数よりも1単位、数学Ⅱは2・3学年にまたがった分割履修として、標準単位数よりも2単位、それぞれ増やして実施しています。それでも、本校では中学校までに算数・数学が苦手科目となってしまった生徒がほとんどのため、教科書の内容を終えるのに手一杯な状況です。( )付きの数学Aと数学Bは選択科目となっており、どちらも選択者は20人程度となっています。数学Aと数学Bの選択者の中には、高校に入ってから数学が好きになった、得意科目になったという生徒も多く、少しでもそのような生徒が増えてくれればと願っています。

	1年	2年	3年
数学Ⅰ	4		
数学Ⅱ		3	3
数学A		(2)	
数学B			(2)

### 3 数学科紹介

数学科の職員は5名と多くはないですが、年齢層は20代から50代まで各世代揃っており、本校での経験年数も様々です。

富山 裕司（本校10年目・教務主任・硬式テニス部）

八千代西で良かったことは、部員が少なく、放課後にテニスコートと一緒に練習できること。（でも今は部員がいない…。）代わりにジョギングなどで運動不足にならないようにしています。

須藤 政史（本校6年目・1学年副担任・生徒指導副部長）

現在、坐骨神経痛に悩まされています。そのため、趣味はランニングからストレッチに変更を余儀なくされました。八千代西で良かったことは、様々な個性を持った生徒にめぐりあえることだと信じています。

長谷川 強（本校4年目・2学年担任・ウエイトリフティング部）

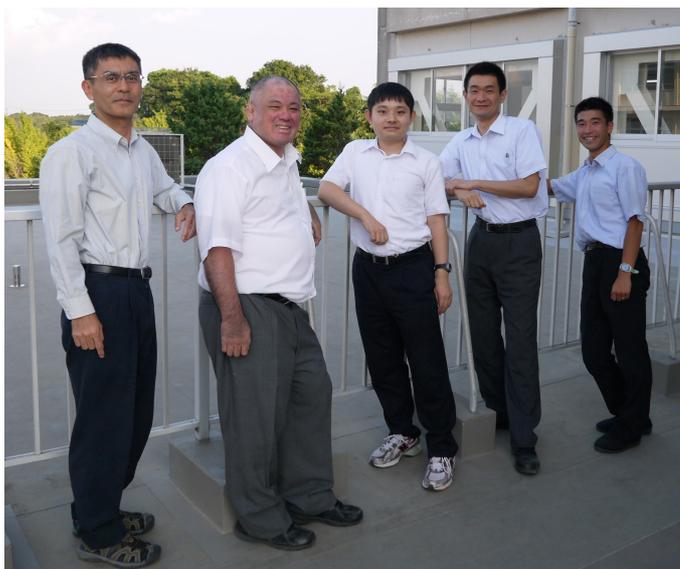
趣味は「ウエイトリフティング」と「ももクロ」（モノノフです）。授業では数学の内容をいかに噛み砕いて説明するか、そのさじ加減が難しい。教員団がまとまっているのは八千代西の良いところ。

岩井 剛（本校3年目・2学年担任・陸上競技部）

生徒にとって、数学って難しいんだなあ、部活動を続けるって大変なんだなあと日々実感。何事も常識とか当たり前とかで済ませず疑うことの大切さを教えてもらっています。

松浦 比呂（本校1年目・3学年付 講師）

生徒指導の難しさに悩むことも多いですが、八千代西では先生方との連携が取りやすいため、とにかく一生懸命にやれています。休日は昼寝やナンプレ、パソコンをして過ごしています。



左より 富山，長谷川，松浦，須藤，岩井